

令和4年度 特別の教育課程の実施状況等について

宮城県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
松島町立松島第一小学校（外2校）	松島町教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
松島町立松島第一小学校	http://matsushima.ed.jp/board/tokureikou-1/
松島町立松島第二小学校	http://matsushima.ed.jp/board/tokureikou-1/
松島町立松島第五小学校	http://matsushima.ed.jp/board/tokureikou-1/

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価・関係者評価結果の公表 URL
松島町立松島第一小学校	http://matsushima.ed.jp/matsules/evaluating_schools/
松島町立松島第二小学校	http://matsushima.ed.jp/matsu2es/evaluating_schools/
松島町立松島第五小学校	http://matsushima.ed.jp/matsu5es/evaluating_schools/

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

<p>◎計画通り実施できている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部、計画通り実施できていない ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

推進会議を開催し、具体的な授業の進め方などについて確認した。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ⊙実施している
- ・実施していない

<特記事項>

学校だよりやホームページでの情報発信及び学校運営協議会等で情報提供している。

4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本特例は、松島町における歴史と文化の学び（松島まるごと学）と英語の学びを総合的に行うことで、町の特色を相手にわかりやすく伝えるコミュニケーション能力の育成にも取り組み、郷土に誇りを持ち自ら行動できる児童の育成を目標としている。

子ども国際観光科では、担任と英語専科教員、A L T が共同して指導にあたり、松島の史跡・名所などを教材に取り入れ郷土への関心を高めている。

アンケート調査からは半数以上の児童が、「子ども国際観光科」の授業が「とても好き・好き」、「とても楽しい・楽しい」と回答しているが、学年が上がるほど「とても好き、とても楽しい」の割合が減っており課題となっている。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本特例は歴史と文化の学びと英語の学びを総合的に行うことにより、郷土への関心を高め、自らの考えを相手に伝えるコミュニケーション能力を身に付けようとするものであり、学校教育法第21条に規定する「我が国と郷土の現状と歴史について、正しい理解に導き、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うとともに、進んで外国の文化の理解を通じて、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。」につながるものと考えられる。

4. 課題の改善のための取組の方向性

本特例初年度であり、授業の進め方等に戸惑いのあった教職員もいたことから、1年生から6年生までが継続した取組や、児童が自らの興味・関心や学んだ松島の良さを伝える手段としての英語の有用性を実感することができる取組がされるよう推進会議での協議・調整を続けていくこととする。

ふるさと「松島」を教材としていることから、新たに着目する学習素材の洗い出しを行い、授業への関心・興味を高めていく。